

私が初めて大西明先生にお会いしたのは、原子核理論研究室に配属する前、学部生時代に受講した講義が最初でした。大西先生が北大に着任されてすぐの時期で、若くてエネルギッシュな先生だなあ、というのが第一印象でした。学部4年で原子核理論研究室に配属となりましたが、大西先生はちょうどアメリカに行かれている時期で、1年ほどお会いできない期間がありました。修士課程に進学した時には、大西先生も帰国され、研究室の様々なイベント等でご一緒したのはもちろん、研究を始めとする様々な面でご指導いただきました。博士論文では副査をしていただくなど、大学院在籍時の5年間はずっとお世話になりました。博士号取得後、核データの研究開発をメインとするポストクとなつてからは、大西先生を含むメンバーの方たちと相談しつつ業務を進めたことを思い出します。

その後は私が一時的に札幌を離れ、かつ分野を変更したこと、大西先生が基研にご異動されたことなど、諸々の事情でお会いする機会が激減しました。しかし、数年後に核データ関連で北大に職を得た際には、所属部署の外部評価委員委員長をお願いして、様々なアドバイスをいただきました。

たまにお会いした際には髪の色以外ほとんど変わらないお姿で、若々しくてお元気だなあ、変わらないなあと感じていました。突然の訃報は全く信じられず、本当に驚き、とても残念でした。

10代のころからから30年弱に渡り大変お世話になりました。大西先生のご指導が無ければ今の私はありません。どうもありがとうございました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

合川 正幸（北海道大学）